

平成23年度 各会計の歳入歳出決算を認定

各会計の歳入歳出決算額

【単位：円】

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	繰越明渠費 繰越額	実質収支額
一般会計	4,966,489,639	4,898,776,159	67,713,480	6,254,000	61,459,480
国民健康保険特別会計	604,945,070	589,629,662	15,315,408	0	15,315,408
介護保険特別会計	319,168,053	307,593,821	11,574,232	0	11,574,232
後期高齢者医療特別会計	47,736,807	47,520,397	216,410	0	216,410
医療施設特別会計	164,624,822	164,509,154	115,668	0	115,668
簡易水道特別会計	215,213,333	210,675,240	4,538,093	0	4,538,093
公共下水道特別会計	220,262,242	218,791,070	1,471,172	0	1,471,172

平成23年度一般会計ほか6特別会計の歳入歳出決算は、町監査委員の決算審査意見書と共に提出され、本会議において審議を行った結果、各会計とも認定すべきものと決定しました。各会計の決算額は、上記のとおりです。

主な審議内容

- Q** 立木の売払いは随意契約のようだが、競争入札は考えていないのか？
A 今後、競争入札も前向きに検討していく。
- Q** 茂岩山パークゴルフ場の管理委託は、具体的にどのような管理が？
A 基本的には草刈り業務、6カ月間、週1回と、来場者の料金徴収で、その他に用具の貸出がある。
- Q** 電算情報管理費の電波監視員謝礼は、どのような内容？
A テレビ難視聴区域内（茂岩山町、茂岩末広町）の一世帯に、緊急時に放送事故が無いよう、専用モニターテレビを設置し、日常的に電波の監視をお願いしている。
- Q** 歳入で、土地改良事業の道営負担事業、国営農地開発事業の負担金に不納欠損処分額があるが、どの様ないきさつか？
A 国営事業は、昭和60年まで実施した国営農地造成受益者で、平成8年までは償還を行っていた。

意見書

▷森林・林業・木材産業政策の積極的な展開に関する意見書

原案どおり可決され、関係省庁に提出されました。

《教育委員会委員の任命》

任期満了となる教育委員会委員に現教育長の菅原裕一さん、茂岩末広町を任命すると提案があり、これに同意しました。

だが、農地造成の効果が得られないと未払いになり、その後、諸事情により平成18年から徴収が出来ない状況。道営事業は、平成14年実施の中山間暗渠事業を行った受益者で、設計の了解が得られないまま施工が実施され、本人の希望した施工が行われなかったことにより未納のまま現在に至った。いずれも地方自治法の規定に基づき不納欠損処分とした。

委員会レポート

産業厚生常任委員会で8月31日に、「農作物の作況について」所管事務調査を行いました。

町内の農作物の作況について、8月31日に開催された町農業改良推進協議会が主催する作況調査に同行して調査した。

調査当日は、町内の9圃場9作物について一圃場ごとの作物の草丈、着莢数などの生育状況や、病害虫の発生状況、農作業の進捗状況及び今後の注意事項などについて説明を受けた。

本年は、4月下旬5月上旬の多雨により甜菜の移植作業や馬鈴薯の植付作業が遅れ、豆類についても5月下旬の多雨・低温によりは種作業が遅れたことから、作物全般に生育が遅延傾向にあり心配されていたが、7月に入り高温が続き生育が回復傾向にある。

調査時点での作物ごとの生育状況は、豆類については回復しており、莢数も多く、平年以上の収量が期待できる状況である。甜菜は、多雨のため移植が遅れたが、病気も少なく、その後の好天によりほぼ回復している。



農作物作況調査

馬鈴薯も病気が少なく、いずれも平年並みの収量が見込まれる。

牧草については、1番草は平年よりやや劣りすぎみだったが、2番草は生育が良好。デントコーンは初期の生育が遅れたが、その後回復し草丈は平年並みに生育している。

大根等野菜については概ね順調に生育している。

なお、現地調査は行わなかったが、すでに収穫作業の終了した秋まき小麦については、昨年から『きた

ほなみ』の収穫となっており、融雪の遅れや降雨の影響もあったが、その後の好天により概ね良好となっている。

調査時点での状況は以上のとおりであるが、今後の台風等により作物への影響が懸念されることである。

また、今後においては、病虫害による被害、霜の降りる時期によっては豆類の収穫に悪影響を及ぼすことも考えられる。

一部の排水不良圃場においては生育不良がみられることから、全町的に中長期的な明・暗渠排水などの農地基盤整備対策や、平成20年度から行われている土層改良を目的とした排水不良圃場への泥炭客土の継続と効果のある活用方法の検討など、安定的な収量確保に向けた対策を講じることや、本格的な収穫期を迎えるにあたり農作業事故の注意を喚起するよう関係機関等をおして指導を徹底されたいなどの意見が出された。

滑川市議会議員団来町

9月15、16日に、本町の姉妹都市である富山県滑川市議会議員（開田晃江議長）一行11名が来町しました。

一行は二日にわたり、大規模農場やはるにれの木など、本町を視察し、16日には、3年ぶりに開催された、とよこる産業まつりに参加し、交流を深めました。



とよこる産業まつり交流会

山口牧場（山口良一氏）では生まれたばかりの子牛やタンチョウヅルも見学することができました。

滑川市の農業者はほとんどが兼業農家で、議員団は本町の農業経営規模の大きさと畑一区画の大きさに驚きの声をあげていました。